

# 日中同形同義語「協力」の語義 及び使い方に関する比較研究

顧 令 儀

要旨 日本語の「協力」と中国語の“協力”は一般的に、疑うことなく同形同義語とされているだろう。同形同義語というと、字形に多少違いがあるとしても両言語では通用できることがほとんどである。しかし、日本語の「協力」と中国語の“協力”は、意味においても、使い方においても、相当大きな違いを持っている。この違いを無視すると、誤用を起すことも当然である。本稿では日本語と中国語のコーパスを利用して、それぞれランダムに選んだ500例の例文に対して、語義と使い方を分析してみた。両者の違いを明らかにして、学習者にその差異をマスターしてもらい、誤用を避ける一助にしたい。

キーワード 同形同義語 「協力」 使い方 語義

## 中日同形同義詞“協力”的詞義與用法之比較研究

提要 一般地说日语「協力」和汉语“協力”毫无疑问属于同形同義詞，这种同形同義詞，尽管字形上或许有些差异，但在两种语言中几乎可以通用。然而，日语「協力」和汉语“協力”二者无论是在詞義上还是在用法上，都存在着相当大的差异，基本上不能通用。无视这种差异，就必然造成誤用。本文对中日語料庫的各500句随机用例做了語義和用法の分析，从而得出大致規律，旨在借以阐明这些差异，以帮助学习者辨清原委避免誤用。

关键词 同形同義詞 “協力” 用法 詞意

## 1. 辞書に見られる「協力」と“協力”の語意

日本語と中国語には多くの同形語が存在している。周知の通り、形が同じでも、意味や使い方が異なるものも多くある。このような同形語について、これまでに多くの研究が行われてきた。一方、形も意味も同じ同形同義語についての研究はまだ不十分だと思われる。例えば「中国」「学生」「以来」「希望」のような同形同義語はほとんど訳さずにそのまま使われているが、果たして全ての同形同義語に対して、このことが当てはまるかどうかは、検討する余地があると思われる。例として、「協力」と“協力”を見てみよう。

日本語の「協力」と中国語の“協力”（“協”は簡体字で、元々の漢字いわゆる繁体字は“協”である）はまったく同じ字形で、また同じ字義を持っている。辞書を見てみれば、日本語の「協力」は次のようである。

ある目的のために心を合わせて努力すること。「募金に一する」「一致一する」（『広辞苑』第七版、2018年1月、p.773）

ある目的に向かって力を合わせること。「事業に一する」「一を惜しまない」（『大辞林』第四版、2019年9月、p.716）

力を合わせて努力すること。心を合わせて働くこと。（『日本国語大辞典』第四卷、第二版、2001年4月、p.504）

中国語の“協力”についても、何冊かの中国の権威的な辞書で調べた。

共同努力（做某事）。～援助灾区。（《现代汉语词典》第7版、2016年9月、p.1449）

合力；一齐努力。齐心～。（《现代汉语规范词典》第2版、2014年6月、p.1451）

合力；共同努力。郭沫若《念奴娇》：“与导师协力、同心、共命。”（《现代汉语大辞典》2000年12月、p.184）

結論を言うと、日本語の「協力」と中国語の“協力”の語義は同じなのである。しかしいずれも「力を合わせて努力する」ではあるが、日本で生活しているとよく見かける「協力」をこのように理解してよいか、この語を中国語に訳すときにそのまま“協力”と訳せるかは検討する余地があると思われる。例えば、下の二つの文に使われている「協力」はどのように理解して、どう訳せば良いのだろうか。

- (1) このトイレは、皆様の協力により清潔さが保たれております。(ある公衆トイレの張り紙)
- (2) トイレトペーパーの使い切りにご協力ください。(あるホテルのトイレトペーパーの包装紙)

この二つの文の「協力」の意味・用法は確かに辞書どおりだろうか、筆者はできるだけ多くの辞書を調べてみた。その結果、一部の最新の辞書において、「協力」の比較的新しい用法が見つかり、語義の説明でこのことに少し触れていた。

目的に向かって心を合わせ努力すること。「一を惜しまない」「一的」「警察に一する」「平和維持活動に一する」「関係機関と一する」△本来は軽重の差があっても全員が同一目的に向かって共に、ということだったが、近ごろは「いたずらに…する」など手を貸す程度の事や「アンケートにご協力有難うございます」など以前の「お手数をお掛けしました」に近いあいさつに使われている。

(『岩波国語辞典』第七版、2009年11月第一刷、p.365)(名・ス自)

この説明がいつから付け加えられたのかを調べるために『岩波国語辞典』第六版(2000年11月第一刷 p. 295)と『岩波国語辞典』第五版(1994年11月第一刷 p. 286)も調べた。第六版の語義説明は第七版と同じく、前述の△記号の後ろの語義説明は加えられているものの、「警察に一する」「平和維持活動に一する」「関係機関と一する」という三つの例はなかった。第五版の場合、前述△記号の前の語義説明部分は第六版・第七版と同じだが、△記号の後の部分はなく、用例も第六版と同じように、「一を惜しまない」「一的」の二つだけである。

また『新明解国語辞典』第七版にも同じ変化が生じていたことが今回の調べでわかった。

(名・自サ) (だれに…する／だれと…する) 力を合わせて物事に当たること。「一を取り付ける (呼びかける・要請する・惜しまない)」「積極的な一を得る」「一体制を整える」「一者」△運用「(ご理解と) 御協力をお願い申し上げます」などの形で、相手が不便を感じることは承知しつつも、禁止や命令を含意する言い方となる。

(『新明解国語辞典』第七版、2012年1月 p.379)

『新明解国語辞典』第六版(2005年2月 p.375)、『新明解国語辞典』第五版(1997年10月 p.6354)ともに語義説明と挙げられた例文は第七版と同じだが、△の後の内容はないのである。

つまり、日本語の「協力」には本来の語義に加えて、新しい使い方が生じていることがわかったが、その使い分けや、中国語に訳すときにどのように訳せばよいかの答えにはなっていない。そこで日本語と中国語のコーパスを利用して、具体的に分析を試みた。

## 2. 実例から見た「協力」と“協力”の語義上の異同

言葉の意味を徹底的に把握して、正確に説明するには、具体的な一文一文の文章から離脱してはいけない。「協力」「協力」のコロケーション、用法と語義を総合的に考察するために、「協力」は「現代日本語書き言葉均衡コーパス(少納言)」、<sup>1)</sup>“協力”は「北京大学コーパスデータバンク」<sup>1)</sup>から実例を分析することにした。

「協力」という言葉を「現代日本語書き言葉均衡コーパス(少納言)」で調べたところ、検索対象の1億500万語のうち、「協力」を使った文は15,448

---

1) 北京大学中国语言学研究中心 CCL 语料库检索系统。(この他に“国家语言文字工作委员会”のコーパスも利用して調べたが、“協力”を使った文は25件しか出てこなかった。)

件あった。“協力”という言葉を「北京大学コーパスデータバンク」の検索対象5億8000万語を調べたところ、“協力”を使った文は3076件あった。この数値から見れば、「協力」は“協力”よりも使用頻度ははるかに高いと推測することができる。

本研究考察統計をする場合、「協力」を使用している文、“協力”を使用している文、それぞれのコーパスからランダムで500文を抽出した。それぞれコーパス収録文の3.24%と16.25%にあたる。

両言語の辞書の従来の語義解釈から見ればまったく同じではあるが、コーパスの実例から見ると、語義の面においてまったく同じ例もあるがそうでない例も数多くある。具体的には、次の三つのパターンに分けることができる。

- 1) 協力者双方が対等で、「力を合わせて努力する」の「協力」
- (3) 中国との協力については、1980年5月に締結された。
- (4) 主催者、お客さん、スタッフ、その他みんなが協力し合わないと祭り  
はできないものだから、楽しむことが一番だと私は思った。
- (5) 市では今後も、市民や企業などと協力して快適な生活を送られるよう  
に美化活動を推進する……
- (6) 「教師と父母が子どもの幸せを願って協力しあう」組織がPTAである。
- (7) あなたたちご夫婦が協力して、幸せに向かって頑張っているからで  
しょう。
- (8) 国难当头之际，我们不能只忠于哪个人，亲蒋派和亲李派都应该齐心协  
力，以大局为重。
- (9) 指挥是指领导指示组织内的所有人同心协力去执行组织的计划，实现组  
织的目标。
- (10) 认可夫妻” 协力”，其根本目的是维护婚姻的稳定，引导婚姻当事人以  
家庭整体利益为……
- (11) 齐鲁儿女正万众同心，上下协力，以炼金熔铁的热情，以百折不挠的  
毅力，攻关夺隘，共创改革的新纪。

(12) 唯有公司每一位成员亲和协力，至诚团结，才能促成进步与发展。

「協力」を見ても、“協力”を見ても、以上の用例はいずれも「力を合わせて努力する」という典型的な使い方である。

協力する目的は、同じ文ではっきり表明することもあれば、そうでない場合もある。はっきり目的を説いてない場合はほとんどが文脈によって言わなくても読者や聞き手に理解してもらえるだろう。

協力者については、二人の人、二つの団体、およその範囲の中の複数の人間に決まっている。協力者双方あるいは諸方は基本的に主従のような関係ではない。

## 2) 協力者双方は対等ではなく、「力を合わせて努力する」の「協力」

(13) 政党は、国民の政治的意思形成に協力する。

(14) 自発的に相手と協力して対話を行う練習をしてきた。

(15) 対途上国原子力協力のあり方につき原子力先進国側、途上国側それぞれより種々の見解が表明されたが、……

(16) 多様な市場環境の中で、周囲のプレイヤーと競争・協力しつつ棲み分け、自分の餌場を確保していくことなのだ。

(17) 「舞鶴引揚記念館」の協力を得てパネルなどの展示を行います。

(18) 首先派遣第四、第七两军，分由粤、桂出发，协力第八军消灭湘境之敌。

(19) 以第三军全力及第一军之第一师协力攻南昌；以第六军主力攻永修，一部策应南昌之攻击；

協力者双方あるいは諸方は完全に対等な関係、対等な立場でない例もあることはあるが、気持ち的には力の大小の差異、パワーの軽重の違いを無視して、心をつにして力を合わせることにポイントにされている。このような使い方は日本語の「協力」にはたくさん見られるが、中国語の“協力”では比較的少ない。

## 3) 主導者の提案や要求を従わせるための「協力」

日本語の「協力」だけが有して中国語の“協力”にはまったくない語義も

ある。このような例は、調べたコーパスにも出てきているが、日常生活にはさらに多く見られる。以下例 (23) から (32) は筆者の集めた実例である。

- (20) 協力要請があつてはじめて、われわれは動く。
- (21) 「了解いただけたら、捜査にご協力をお願いしたいんですが」「協力ですか。したいんですが、ぼくは誘拐していません。」
- (22) お年寄りに生きていて良いと思ってもらいたいし、お年寄りに協力もしてもらいたいです。
- (23) 分煙徹底について理解と協力を！ (関西学院大学学内)
- (24) 煙ルールとマナーの遵守、分煙徹底の推進に皆さんの理解と協力を求めます。(関西学院大学学内)
- (25) 紙の分別回収にご協力ください。(関西学院大学学内)
- (26) 湯呑みはひとりおひとつまででのご協力よろしくご願ひいたします。(関西学院大学学内)
- (27) 学生及び教職員の健康増進のため、受動喫煙の防止へのご理解とご協力をよろしくご願ひします。(関西学院大学学内)
- (28) アンケートにご協力ください。(砂の美術館)
- (29) 店舗の建て替え工事を行っています。ご迷惑をお掛けしますがご協力を願ひします。(西日本高速道路株式会社)
- (30) 階段では左側通行にご協力願ひします。(阪急電鉄)
- (31) 駐車時間を短くするようご協力ください。(甲東北保育所)
- (32) 未成年者へのタバコ販売を防ぐ為、年齢確認をお願いする場合がございます、ご協力頂けますようによろしくご願ひ致します。(株式会社万代仁川店)

これらの例から見ると、誰かと力を合わせるというニュアンスが薄く、一方的な要求だと感じとることもできる。つまり、主導者がいて、「協力」する側からすれば、ただ主導者の提案や意見に従うだけである。また、「協力」する内容が明白な場合もあれば、例 (29) のような、「協力」する内容が不明な場合もある。そのため、これらの日本語の「協力」を中国語で言えば、「協力」よりは「協助」「配合」の意味になるだろう。

さらに考えると、例(3)から例(7)の「協力」の「協」は“协同”“共同”の意味が強いが、例(20)から例(32)の「協力」の「協」は“协助”“助力”の意味合いが強いようである。例(13)から例(17)の「協力」の「協」は両者の間で、意味的には中間的で、過渡期に位置するだろう。

しかし、中国語では“協力”の“協”は基本的に最初の「協」の意味で、せいぜい過渡期段階であり、平等、均等のことをさほど強調しないにしても、一方は主、もう一方は従、ないし一方的に手伝い、手助けする(してもらう)まではいかないようである。何故このようなことが生じたかについては、今後の課題にしたいと思うが、日本語の「協力」の使用頻度は中国語の“協力”より非常に高く、使っているうちに「共同」、「共に努力する」の意識がだんだん薄れてきていることが、その一つの理由ではないかと考えている。

### 3. 実例から見た「協力」と“協力”のコロケーション上の異同

前節のとおり、意味合いから見た「協力」と“協力”はまったくあるいはほとんど同じ場合もあればそうでない場合もある。しかし、たとえまったくあるいはほとんど同じ場合にしても使い方はかなり異なっていることは、統計的なデータから見てはっきり見られる。

具体的な統計結果は表1のようである。

この統計結果を見ると、日本語の「協力」の半数以上は単独で名詞あるいは動詞として使うが、中国語ではこのような使い方は合わせても5%に満たない。しかも、単独で名詞として使われる際には、次のように“協力”には引用の符号が付いている。

(33) 可夫妻之间的“协力”，就是婚姻财产制度的必然选择。

一方、中国語の“协力”の8割以上は成語という四字熟語の構成要素で、主に“齐心协力”“同心协力”に出てくる。それ以外に、意味も構造も似ている成語は“同德协力”1例、“协力同心”5例があったが、いずれも、“齐心协力”と同じ意味である。これは「協力」は書き言葉にも話し言葉にもよ



日中同形同義語「協力」の語義及び使い方に関する比較研究

表1 日本語「協力」のコロケーション

「協力」を単独で名詞として使う例	190	37.25%
「協力」を単独で動詞として使う例	114	22.35%
「協力」で作った複合名詞	160	31.37%
(名詞+「協力」タイプ)	(126 78.75%)	(24.70%)
(「協力」+名詞タイプ)	(34 21.25%)	(6.667%)
「協力」の派生語*	20	3.92%
「協力」を含む固有名詞	26	5.09%
合計	510	100.00%

\*「協力」と前置部分あるいは後置部分でできた派生語。この中には「御」「ご」を含めない、「非」「的」などだけ。

表2 中国語の“協力”のコロケーション

“協力”を含む四字成語	411	80.27%
(“齐心協力”)	(264 64.23%)	(51.56%)
(“同心協力”)	(141 34.31%)	(27.54%)
(そのほかの成語)	(6 1.46%)	(1.17%)
“協力”を単独で動詞として使う例	14	2.73%
“協力”+動詞で複合動詞として使う例	25	4.88%
“協力”を単独で名詞として使う例	6	1.17%
“協力”で作った複合名詞	17	3.32%
(名詞+“協力”タイプ)	(9)	(1.76%)
(“協力”+名詞タイプ)	(8)	(1.56%)
“協力”を含む固有名詞	39	7.62%
合計	512	100.00%

く使われているが“協力”はやや書き言葉のニュアンスを持っているからであろう。

名詞+「協力」タイプの複合名詞は「技術協力」「経済協力」「資金協力」「国際協力」「政府間協力」「日米防衛協力」など、「協力」+名詞タイプの複合名詞は「協力関係」「協力体制」「協力実績」「協力スタッフ」「協力プロ

ジェクト」などを指す。これは「協力」の二番目に多い使い方、3割近くもある。それに対して、中国語の“協力”で作った複合名詞は“夫妻協力”“上下協力”“亲和協力”“相互協力”“協力行爲”“協力単位”“協力关系”“協力原則”を挙げることができるが、全体の3%に過ぎず、両言語の使い方には大きな差がある。

日本語の「協力」で三番目に多い使い方は単独の動詞としての用例で、全体の五分之一強を占めているが、同じ使い方の中国語の“協力”は3%未満である。

「協力」と“協力”のコロケーションの違いがあまりに大きいことが今回の調査でわかった。日本語の「協力」の上位の二つの使い方を合わせると、7割に近いが、それに対応する“協力”はほとんど存在しない。

「協力」+動詞のタイプの複合動詞の用例は、今回の調査資料では見当たらなかったが、“協力”+動詞のタイプの複合動詞の用例は少しあった。“協力合作”“協力保护”“協力推进”“協力争取”“協力发展”“協力构建”“協力攻关”“協力投资”などがこの類である。このタイプの複合動詞は、一応下位動詞がメインとなる動作を表わし、“協力”はそれを修飾する役割を担っている。

「協力」を含む固有名詞と“協力”を含む固有名詞は両方あるが、ほとんどが日本の固有名詞である。日本語のことは推測しかねるが、中国語の場合は決まって日本の固有名詞でなければ日本と関連するものである。全39例があり、具体的には次のようである。

日本海外協力基金（会）（12例）、日本国際協力事業団（9例）、日本海外经济協力基金（6例）、日本協力基金（会）（4例）、日本協力基金（会）（2例）、日本協力銀行（1例）、日本協力団（1例）、日本家族计划協力財団（1例）、保健協力財団（1例）、第一国际協力事业特别奖（1例）、協力基金（1例）

## おわりに

まず語義において、日本の「協力」も中国の“協力”も、同じ目的のために「力を合わせて努力する」という従来の使い方を持っている。この場合、「協力」と“協力”は同義語となるが、「協力」の語義には新しい使い方が生じ、「相手が不便を感じることは承知しつつも、禁止や命令を含意する言い方」という使い方が日常生活の中でよく見かけられるようになった。

そして、「協力」と“協力”のコロケーションにおいても、大きな違いがあることがわかった。中国語の“協力”の8割以上は“齐心协力”“同心協力”の四字熟語となっているのに対して、日本語の「協力」の半数以上は単独で名詞あるいは動詞として用いられている。

また、今回の調査で「協力」と“協力”は同形同義語でも、日本語の「協力」は使用頻度も使用範囲も中国語の“協力”より大きいことがわかった。日本語の「協力」は書き言葉以外に、日常にもよく使われているのに対して、中国語の“協力”は書き言葉や、比較的正式な場面にしか使われていない。また、日本語では、協力者同士は平等な関係でも主従関係でも、あるいは命令や要請の場合でも、「協力」が使えるのに対して、中国語では協力者同士はほぼ同等レベルでないといけないようである。「協力」と“協力”の使用頻度、使用範囲を簡単な図で表すと、図1のような関係になる。

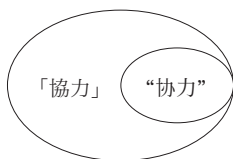


図1 「協力」と“協力”の使用頻度、使用範囲関係図

この関係図を学習者に提示することによって、学習者の理解を深めることができるであろう。そして、図1からもわかるように、「協力」と“協力”は同形同義語でも、同じ使い方ができない部分があると言えるだろう。「協力」と“協力”でそのまま同じ使い方ができるのは対等な協力関係

や固有名詞を中心としたほんの一部に過ぎない。

そのために、日本語の「協力」を中国語に訳すとき、先ずその「協力」は名詞なのか、動詞なのかで判断する必要があると思われる。中国の“協力”は名詞として単独で使うことが極めて少ないので、日本語の「協力」が単独名詞なら、多くの場合、そのまま使えない、“配合”“合作”“帮助”などと訳したほうが良からう。そのほかに、意識することも考えられる。動詞なら、協力者同士の関係をまた考慮しないとイケない。協力者同士がほぼ対等でしかも書き言葉や比較的正式な場合のみ、「協力」は“協力”と訳すことができる。主従関係、命令あるいは手を貸す程度のこの場合は“配合”“协助”と訳したほうがよいのかもしれない。一方、中国語の“協力”の使用範囲は「協力」の中に含まれているので、そのまま「協力」と訳すことができる。そこで、最初の例(1)と(2)に戻って、次のように訳してみた。

(1) このトイレは、皆様の協力により清潔さが保たれております。

洗手间保持清洁，靠我靠你靠大家。(中国で実際にある宣伝)

(2) トイレットペーパーの使い切りにご協力ください。

请用完最后一张纸，谢谢配合。

もちろん、この結論で全ての「協力」を適切に翻訳できるかどうか、まだ検証する余地があると思われるが、日本語の「協力」について、その単語の性質によってどのように中国語に訳せばよいのか、さらに究明することを今後の課題とする。

#### 参考文献

- 荒川清秀 (1979) 「中国語と漢語—文化庁『中国語と対応する漢語』の評を兼ねて—」『愛知大学文学論叢』62, pp.1-28.
- 上野恵司・魯曉琨 (1995) 『おぼえておきたい日中同形異義語300』光生館.
- 大河内康憲 (1997) 「日本語と中国語の同形語」『日本語と中国語の対照研究論文集』くろしお出版.
- 竹田治美 (2005) 「日中同形類義語について」『人間文化研究所年報』20, pp.335-342.
- 林玉恵 (2002) 「日華・日漢辞典からみた日中同形語記述の問題点—同形類義語を中心

日中同形同義語「協力」の語義及び使い方に関する比較研究

に一」『世界の日本語教育』12, pp.107-121.

潘钧 (1995) 《中日同形词词义差异原因浅析》《日语学习与研究》3, pp.19-23.

施建军 (2013) 《中日同形词共时比较研究的现状及存在的课题》《东边亚外语研究》2013. 1, pp.4-9.

熊可欣・玉岡賀津雄 (2014) 「日中同形二字漢字語の品詞性の対応関係に関する考察」『ことばの科学』27, pp.25-51.

顧令儀 Gu Lingyi 博士 (學術) 関西学院大学中国語常勤講師 専門: 日中同形語・中国語教育